UBE株式会社

2027年3月期
第2四半期(中間期)決算

説明資料

2026年11月5日(木)

第2四半期(中間期)決算のポイント

UBE/UBE株式会社

連結損益

1. 売上高・営業利益は、ウレタンシステムズ事業の連結損益への寄与に加え、機能品セグメントの主要製品の販売好調、樹脂・化成品セグメントの原料価格高騰等に伴う販売価格是正、在庫評価差等により、増収増益。
2. 経常利益は、持分法投資利益の改善等により増益幅が営業利益より拡大。
3. 親会社株主に帰属する中間純利益は税金費用の増加により減益

(単位:億円)

項　目	2026年3月期 中間期 (A)	2027年3月期 中間期 (B)	差　異 (B) - (A)
売上高	2,127	2,447	320
EBITDA	213	272	59
営業利益	84	122	37
経常利益	161	205	44
親会社株主に帰属する中間純利益	111	105	△ 6

業績予想

1. 売上高は、樹脂・化成品セグメントの原燃料価格の高騰を背景とした販売価格是正等により、計画を上回る見通し。
2. 営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、医薬セグメントにおける販売低迷、高機能ウレタンセグメントにおけるウレタンシステムズ事業の統合費用の増加を見込むものの、樹脂・化成品、機能品、機械の各セグメントにおいて販売が堅調に推移し、計画を上回る。

株主還元

1. 配当予想に変更は無く、DOE3.5%に基づき、2027年3月期の年間配当予想は1株当たり160円(中間配当80円、期末配当80円)。
2. DOE水準は現行の3.5%以上から、4.0%以上への引き上げを目指す。
   今後、機械事業・セメント関連事業のIPO資金の一部による自己株式取得を検討。

2027年3月期
第2四半期（中間期）決算概要

UBE株式会社

連結対象会社

項目	2026年3月期末 (A)	2027年3月期 中間期末 (B)	増減 (B) - (A)	摘　要
連結 子会社数	46社	46社	ー	
持分法 適用会社数	17社	15社	△2社	ー エムシー・ファーティコム株式会社 ー LOTTE UBE SYNTHETIC RUBBER SDN.BHD.
計	63社	61社	△2社	

UBE株式会社

環境要因

項　目				2026年3月期 中間期 (A)	2027年3月期 中間期 (B)	差　異 (B) - (A)
為替レート			円/$	146.0	159.4	13.4
資材価格	ナフサ	CIF	$/t	616	946	330
		国産	円/KL	64,550	107,050	42,500
	豪州炭(CIF)		$/t	139.0	161.0	22.0
			円/t	20,299	25,659	5,360

UBE株式会社

主要項目

(単位:億円)

項　目	2026年3月期 中間期 (A)	2027年3月期 中間期 (B)	差 異 (B) - (A)	増減率
売上高	2,127	2,447	320	15.0%
EBITDA	213	272	59	27.5%
営業利益	84	122	37	44.2%
経常利益	161	205	44	27.2%
親会社株主に帰属する 中間純利益	111	105	△ 6	△ 5.7%

UBE/UBE株式会社

セグメント別 売上高/営業利益

(単位:億円)

	セグメント	2026年3月期 中間期 (A)	2027年3月期 中間期 (B)	差 異 (B) - (A)	増減率
売上高	機能品	344	417	73	21.2%
	高機能ウレタン	170	318	148	86.6%
	医薬	105	95	△ 10	△ 9.3%
	樹脂・化成品	1,172	1,278	106	9.0%
	機械	298	290	△ 8	△ 2.7%
	その他	167	205	38	22.7%
	調整額	△ 129	△ 155	△ 26	-
	計	2,127	2,447	320	15.0%
営業利益	機能品	43	70	26	61.1%
	高機能ウレタン	△ 4	4	8	-
	医薬	△ 5	△ 7	△ 2	-
	樹脂・化成品	40	59	19	46.2%
	機械	19	21	2	10.1%
	その他	10	10	0	0.0%
	調整額	△ 20	△ 36	△ 16	-
	計	84	122	37	44.2%

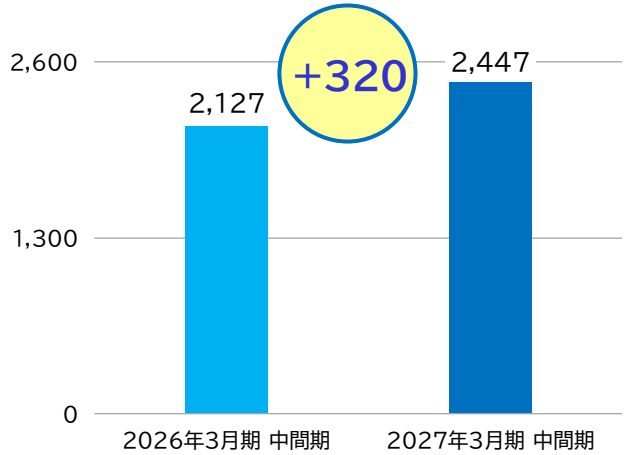
(注)・2026年3月期において、マテリアルリサイクル樹脂製造会社及びウレタンシステムズ事業会社の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行いました。
2026年3月期中間期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。
・2027年3月期より、UBE America Inc.を「樹脂・化成品」から「機能品」へセグメント変更しています。2026年3月期中間期実績は、新しいセグメントに組み替えた場合の参考値です。

UBE株式会社

差異分析 全社

(単位:億円)

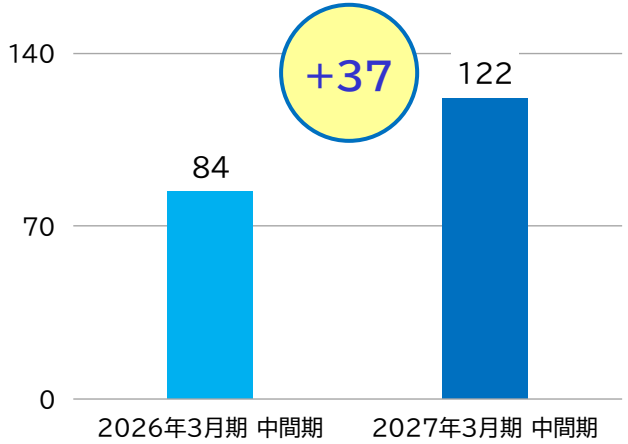
売上高



機能品	73
高機能ウレタン	148
医薬	△ 10
樹脂・化成品	106
機械	△ 8
その他	38
調整額	△ 26

15.0% 増収

営業利益



機能品	26
高機能ウレタン	8
医薬	△ 2
樹脂・化成品	19
機械	2
その他	0
調整額	△ 16

44.2% 増益

定性情報

売上高:増収

- 高機能ウレタン : ウレタンシステムズ事業の連結損益への寄与(前年第1四半期は連結対象外)。
- 樹脂・化成品 : エラストマーの販売価格が上昇。
- 機能品 : 主要製品の販売数量が増加。

営業利益:増益

- 中東情勢の影響により原燃料価格が高騰したものの、ウレタンシステムズ事業の寄与に加え、機能品の主要製品の販売、樹脂・化成品のナイロンポリマー、エラストマー等の販売、機械セグメントのアフターサービスが堅調に推移。

営業利益差異

価格差 ※1	43
数量差	12
固定費ほか ※2	△ 17
計	37

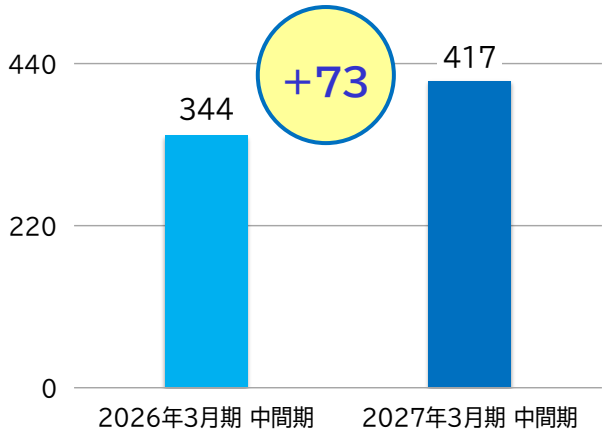
※1:資材単価差含む
※2:在庫評価差含む

UBE株式会社

差異分析 機能品

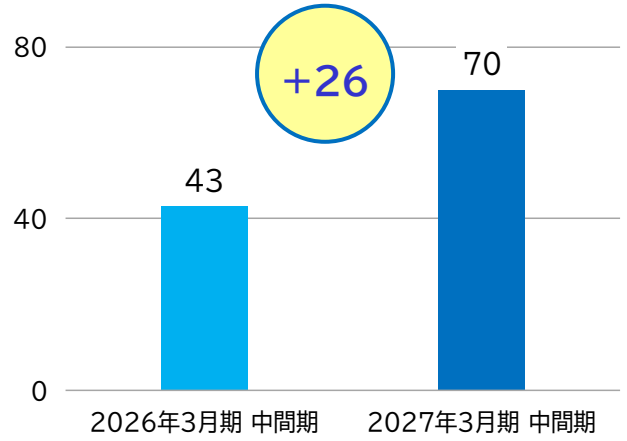
(単位:億円)

売上高



21.2% 増収

営業利益



61.1% 増益

定性情報

売上高:増収

- ポリイミド : COF向けフィルム(ディスプレイ用途)、有機ELパネル向けワニス(スマートフォン用途)の需要が堅調。原料BPDAも販売数量が増加。
- 分離膜 : バイオメタン製造向け脱炭酸膜の需要が回復してきたことに加えて、窒素分離膜の需要も設備機器用途等で増加。
- セラミックス : 電動車の軸受け向けの販売数量が増加。
- セパレータ : ハイブリッド自動車向けの需要増加に伴い販売数量が増加。
- フェノール樹脂 : 半導体向けの需要増加に伴い販売数量が増加。

営業利益:増益

- ポリイミド、分離膜、フェノール樹脂、セパレータなどが堅調に推移。

営業利益差異

価格差 ※1	△ 8
数量差	29
固定費ほか ※2	5
計	26

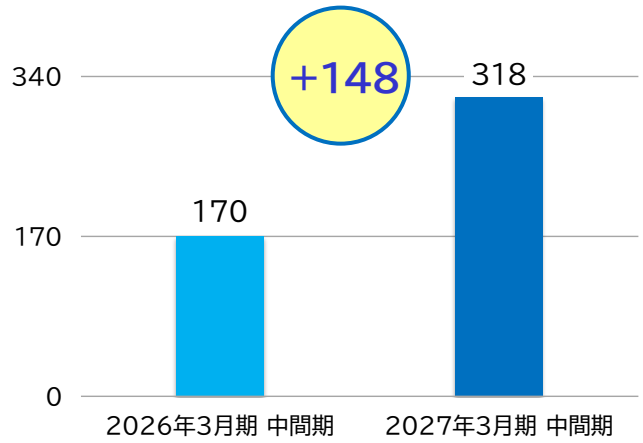
※1:資材単価差含む
※2:在庫評価差含む

UBE株式会社

差異分析 高機能ウレタン

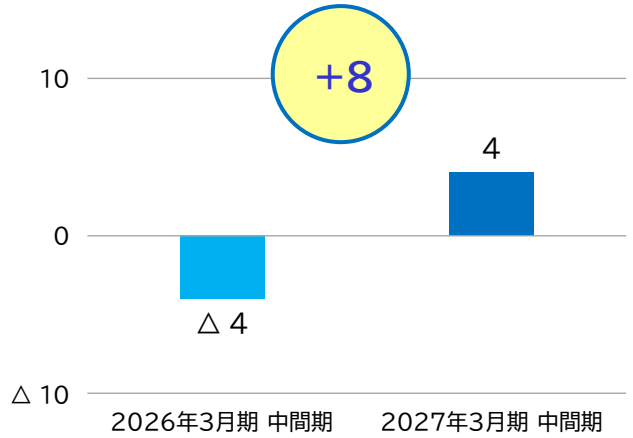
(単位:億円)

売上高



86.6% 増収

営業利益



－

定性情報

売上高:増収

- ウレタンシステムズ :2025年4月に事業取得。同事業を営む各社が12月決算であるため前年第1四半期の連結損益には含まれていなかったが、今年度第1四半期は寄与。
  米国市場を中心に半導体向けを含む主要用途の需要は堅調。
- 高機能コーティング :海外での販売が堅調に推移。

営業利益:増益

- 今年度第1四半期にウレタンシステムズの損益が反映。
- 高機能コーティングの販売が堅調に推移。

営業利益差異

価格差 ※1	3
数量差	9
固定費ほか ※2※3	△ 4
計	8

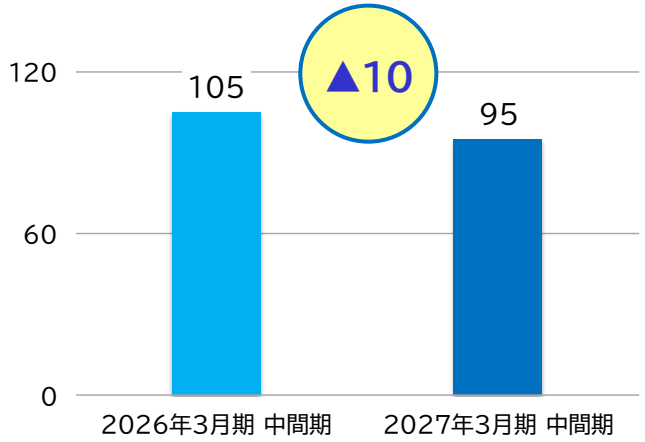
※1:資材単価差含む
※2:在庫評価差含む
※3:ウレタンシステムズの価格差、数量差含む

UBE株式会社

差異分析 医薬

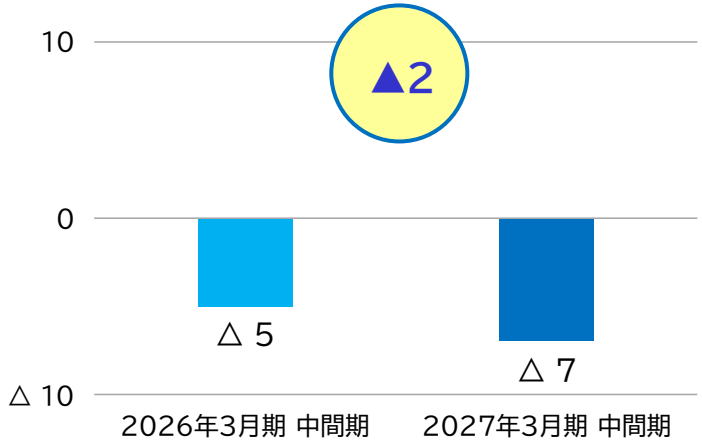
(単位:億円)

売上高



△9.3% 減収

営業利益



－

定性情報

売上高:減収

- 受託品の販売数量が低調に推移
- ロイヤリティ収入が減少

営業利益:減益

- 受託品の販売数量が低調に推移
- ロイヤリティ収入が減少

営業利益差異

価格差 ※1	3
数量差	6
固定費ほか ※2	△ 10
計	△ 2

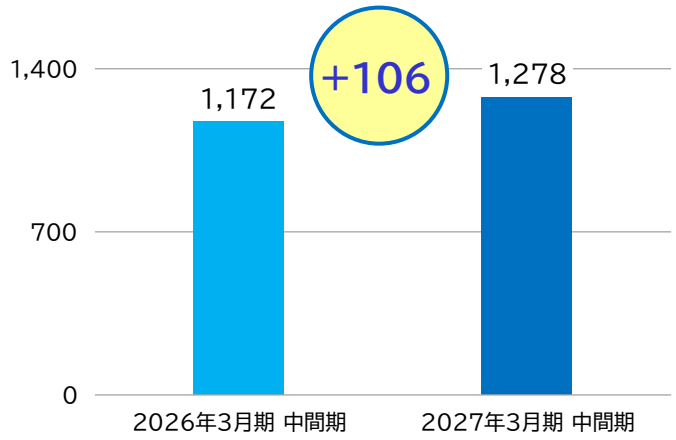
※1:資材単価差含む
※2:在庫評価差含む

UBE/UBE株式会社

差異分析 樹脂・化成品

(単位:億円)

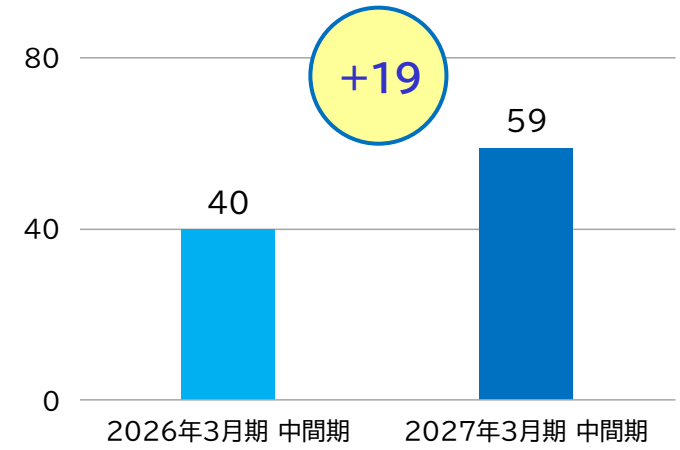
売上高



ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽﾎﾟﾘﾏｰ & ｹﾐｶﾙｽﾞ	△ 1
エラストマー	107

9.0% 増収

営業利益



ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽﾎﾟﾘﾏｰ & ｹﾐｶﾙｽﾞ	2
エラストマー	16

46.2% 増益

定性情報

売上高:増収

- コンポジット :自動車向けの需要が底堅く推移する中で、原料価格高騰に対応し、販売価格を是正。
- ナイロンポリマー :事業構造改革の一環として2026年3月にタイの製造設備を縮小し販売数量が減少したものの、原料価格高騰に対応し、販売価格を是正。
- エラストマー :原料価格の高騰により販売価格が上昇。

営業利益:増益

- ナイロンポリマー、エラストマーの販売価格上昇等。

営業利益差異

価格差 ※1	30
数量差	△ 30
固定費ほか ※2	20
計	19

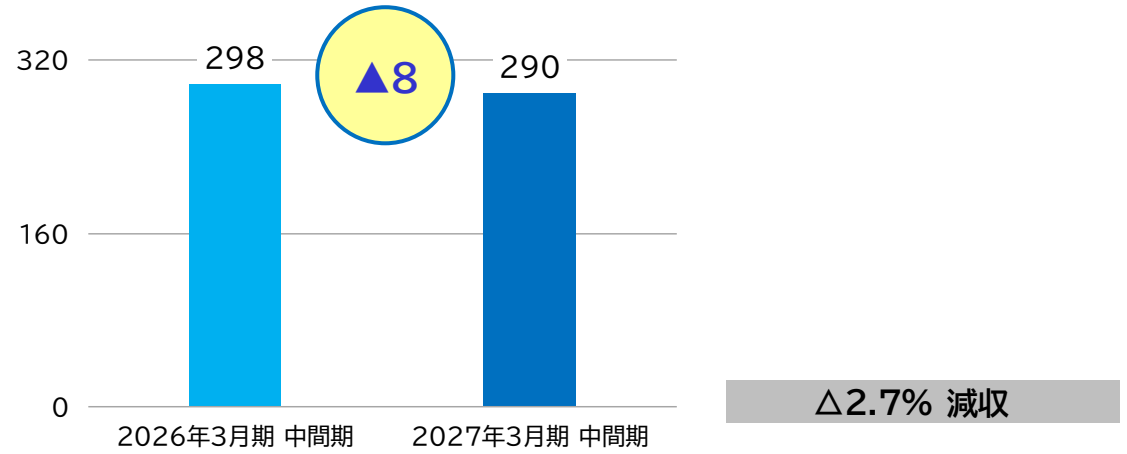
※1:資材単価差含む
※2:在庫評価差含む

UBE株式会社

差異分析 機械

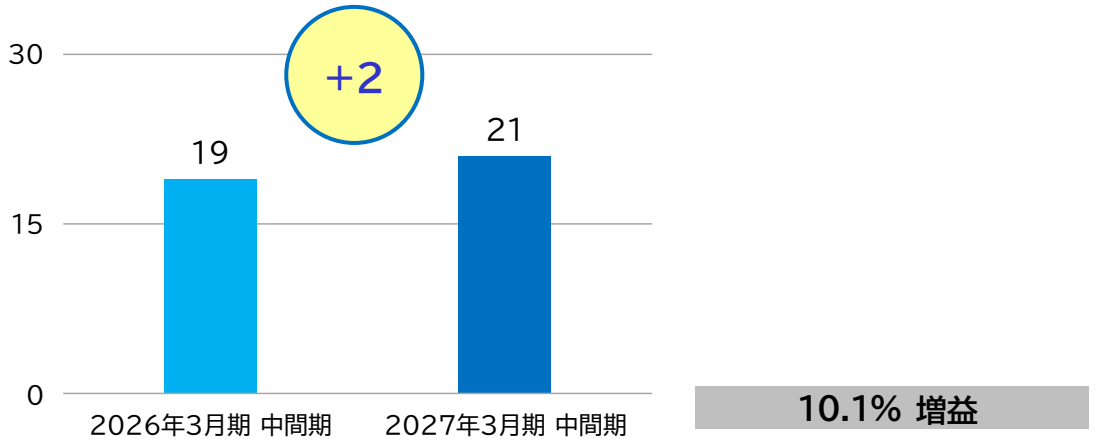
(単位:億円)

売上高



△2.7% 減収

営業利益



10.1% 増益

定性情報

売上高:減収

- 成形機　　:自動車産業向け製品の販売が減少。

営業利益:増益

- 成形機事業、産機事業ともにアフターサービスが堅調。

営業利益差異

機械部門限界利益　9

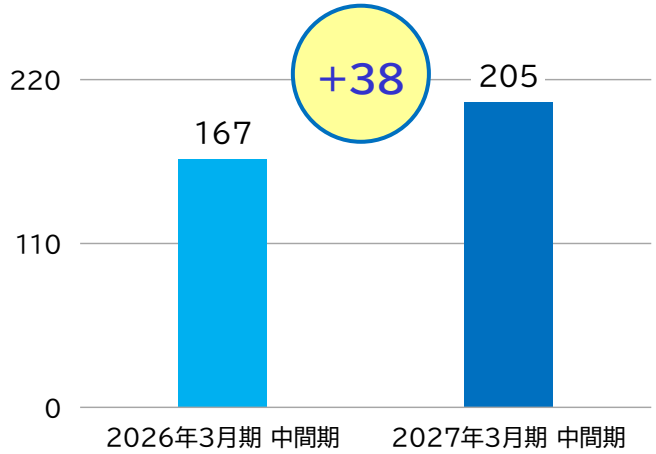
(機械製品は個別受注生産品のため、価格差・数量差の差異分析を行っていない)

UBE株式会社

差異分析 その他

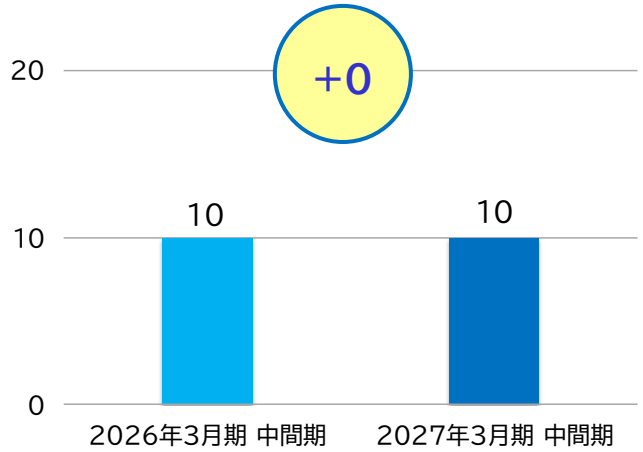
(単位:億円)

売上高



22.7% 増収

営業利益



0.0% 増益

定性情報

売上高:増収

- 電力　　:石炭価格の上昇により売電価格が上昇

営業利益:増益

- 自家発電所における隔年実施の定期修理があり、前年同期並み。

営業利益差異

価格差 ※1	15
数量差	△ 2
固定費ほか	△ 13
計	0

※1:資材単価差含む

UBE/UBE株式会社

営業利益～中間純利益

(単位:億円)

項　目	2026年3月期 中間期 (A)	2027年3月期 中間期 (B)	差 異 (B) - (A)
営業利益	84	122	37
営業外損益	77	83	6
金融収支	△ 12	△ 14	△ 2
持分法投資損益	79	94	15
うちUBE三菱セメントグループに係る持分法投資損益	68	64	△ 4
為替差損益	12	△ 2	△ 14
その他	△ 3	5	8
経常利益	161	205	44
特別損益	△ 19	△ 16	4
税金等調整前中間純利益	142	189	47
法人税等・非支配株主利益	△ 31	△ 85	△ 54
親会社株主に帰属する中間純利益	111	105	△ 6
1株当たり中間純利益	114.14円	107.59円	△ 6.55円

(注)2026年3月期において、マテリアルリサイクル樹脂製造会社及びウレタンシステムズ事業会社の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行いました。
2026年3月期中間期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

UBE/UBE株式会社

貸借対照表

(単位:億円)

項　目		2026年3月期末 (A)	2027年3月期 中間期末 (B)	差　異 (B) - (A)
資産	流動資産	3,083	3,259	176
	固定資産	6,378	6,239	△ 139
	合　計	9,463	9,500	37
負債	有利子負債	3,582	3,543	△ 39
	その他負債	1,332	1,353	21
	計	4,914	4,896	△ 18
純資産	自己資本 *	4,372	4,432	60
	非支配株主持分他	177	172	△ 5
	計	4,549	4,604	55
負債・純資産合計		9,463	9,500	37

＊「自己資本」…純資産から新株予約権と非支配株主持分を除外したもの

UBE株式会社

キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

項 目	2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期	
A.営業活動によるCF	316	194	税金等調整前中間純利益 189 減価償却費 138 持分法による投資損益 △94他
B.投資活動によるCF	△ 888	10	有形・無形固定資産の取得 △310 UBE三菱セメントからの配当金 287 他
フリー・キャッシュ・フロー (A+B)	△ 572	204	
C.財務活動によるCF	△ 161	△ 132	有利子負債の増減 △67 配当金の支払 △64 他
D.現金及び現金同等物の増減 (含、換算差額等)	△ 713	73	
E.現金及び現金同等物の中間期末残高	442	599	

(注)2026年3月期において、マテリアルリサイクル樹脂製造会社及びウレタンシステムズ事業会社の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行いました。
2026年3月期中間期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

2027年3月期 連結業績予想

UBE/UBE株式会社

環境要因：前年度実績との比較

項　目				2026年3月期 （A）	2027年3月期 （B）	差　異 （B）-（A）
為替レート			円/$	150.8	157.2 [155.0→155.0]	6.4 [0.0]
資材価格	ナフサ	CIF	$/t	605	925 [560→900]	320 [340]
		国産	円/KL	65,100	103,500 [62,000→100,000]	38,400 [38,000]
	豪州炭（CIF）		$/t	139.0	168.0 [135.0→175.0]	29.0 [40]
			円/t	20,957	26,400 [20,925→27,125]	5,443 [6,200]

[ ]内は前回予想の下期のみの数値→今回予想の下期のみの数値

UBE株式会社

主要項目：2026年5月13日公表値との比較

（単位：億円）

項　目	2027年3月期（5月13日公表）（A）	2027年3月期（11月2日公表）（B）	差 異（B）-（A）	増減率
売上高	4,850	5,180	330	6.8%
EBITDA	565	595	30	5.3%
営業利益	235	265	30	12.8%
経常利益	375	390	15	4.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	245	255	10	4.1%

項　目	2027年3月期末（5月13日公表）（A）	2027年3月期末（11月2日公表）（B）	差 異（B）-（A）
総資産	10,200	10,200	－
有利子負債	4,150	4,150	－
自己資本	4,500	4,500	－
年間配当金（円／株）	*1 160.00	*2 160.00	－

*1: 160.00円（中間配当金80.00円、期末配当金80.00円）：2026年5月20日公表

*2: 160.00円（中間配当金80.00円、期末配当金80.00円）

UBE株式会社

セグメント別 売上高：2026年5月13日公表値との比較

（単位：億円）

セグメント	2027年3月期（5月13日公表）（A）	2027年3月期（11月2日公表）（B）	差 異（B）-（A）	5月13日に公表した業績予想からの修正
機能品	890	880	△ 10	• セラミックス、セパレータの販売数量が減少
高機能ウレタン	680	690	10	• ウレタンシステムズの販売が堅調
医薬	210	200	△ 10	• 受託品の販売が低迷
樹脂・化成品	2,390	2,695	305	• 原燃料価格の高騰によりナイロンポリマー、エラストマーの販売価格が上昇
機械	700	675	△ 25	• 成形機、産機の製品販売が減速
その他	360	390	30	• 石炭価格上昇に伴う売電価格の上昇 • 海外販売会社が堅調
調整額	△ 380	△ 350	30	
計	4,850	5,180	330	

UBE株式会社

セグメント別 営業利益：2026年5月13日公表値との比較

（単位：億円）

セグメント	2027年3月期（5月13日公表）（A）	2027年3月期（11月2日公表）（B）	差 異（B）-（A）	5月13日に公表した業績予想からの修正
機能品	150	160	10	• ポリイミド、フェノール樹脂の販売が堅調
高機能ウレタン	10	△ 10	△ 20	• ウレタンシステムズのPMI*費用が増加
医薬	5	△ 30	△ 35	• 受託品の販売が低迷
樹脂・化成品	50	130	80	• コンポジット：原料価格の高騰に対応し、価格是正を実施 • ナイロンポリマー：原料価格の高騰に対応し、価格是正を実施 • エラストマー：原料価格の上昇に伴い販売価格が上昇
機械	45	55	10	• アフターサービスが堅調
その他	15	20	5	• 海外販売会社が堅調
調整額	△ 40	△ 60	△ 20	
計	235	265	30	

（注）PMI（Post Merger Integration）：買収後の事業統合

UBE株式会社

主要項目：前年度実績との比較

（単位：億円）

項　目	2026年3月期 (A)	2027年3月期 (B)	差 異 (B) - (A)	増減率
売上高	4,623	5,180	557	12.0%
EBITDA	464	595	131	28.2%
営業利益	189	265	76	39.9%
経常利益	375	390	15	4.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	239	255	16	6.8%

項　目	2026年3月期末 (A)	2027年3月期末 (B)	差 異 (B) - (A)
総資産	9,463	10,200	737
有利子負債	3,582	4,150	568
自己資本	4,372	4,500	128

年間配当金（円／株）	*1 110.00	*2 160.00	50.00

*1: 110.00円（中間配当金55.00円、期末配当金55.00円）

*2: 160.00円（中間配当金80.00円、期末配当金80.00円）

UBE/UBE株式会社

セグメント別 売上高/営業利益：前年度実績との比較

（単位：億円）

	セグメント	2026年3月期 (A)	2027年3月期 (B)	差 異 (B) - (A)	増減率
売上高	機能品	710	880	170	24.0%
	高機能ウレタン	465	690	225	48.2%
	医薬	210	200	△ 10	△ 4.8%
	樹脂・化成品	2,488	2,695	207	8.3%
	機械	684	675	△ 9	△ 1.3%
	その他	345	390	45	13.1%
	調整額	△ 279	△ 350	△ 71	−
	計	4,623	5,180	557	12.0%
営業利益	機能品	99	160	61	62.2%
	高機能ウレタン	△ 5	△ 10	△ 5	−
	医薬	△ 13	△ 30	△ 17	−
	樹脂・化成品	80	130	50	61.9%
	機械	62	55	△ 7	△ 11.9%
	その他	19	20	1	4.4%
	調整額	△ 53	△ 60	△ 7	−
	計	189	265	76	39.9%

参考資料

UBE株式会社

セグメント別 上期・下期 内訳

（単位：億円）

セグメント	売上高			営業利益		
	上期実績	下期予想	通期	上期実績	下期予想	通期
機能品	417	463	880	70	90	160
高機能ウレタン	318	372	690	4	△ 14	△ 10
医薬	95	105	200	△ 7	△ 23	△ 30
樹脂・化成品	1,278	1,417	2,695	59	71	130
機械	290	385	675	21	35	55
その他	205	185	390	10	10	20
調整額	△ 155	△ 195	△ 350	△ 36	△ 25	△ 60
計	2,447	2,733	5,180	122	143	265

UBE株式会社

主要項目　進捗率

（単位：億円）

項　目	2026年3月期（A）		2027年3月期（B）		差　異（B）-（A）	
		中間期実績（進捗率）		中間期実績（進捗率）		中間期実績
売上高	4,623	2,127（46.0%）	5,180	2,447（47.2%）	557	320
EBITDA	464	213（46.0%）	595	272（45.7%）	131	59
営業利益	189	84（44.6%）	265	122（45.9%）	76	37
経常利益	375	161（42.9%）	390	205（52.5%）	15	44
親会社株主に帰属する中間（当期）純利益	239	111（46.4%）	255	105（41.0%）	16	△ 6

UBE株式会社

売上高 四半期業績推移

（単位：億円）

セグメント	2027年3月期					通期予想	進捗率
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累計		
機能品	206	211	－	－	417	880	47.3%
高機能ウレタン	157	161	－	－	318	690	46.1%
医薬	47	48	－	－	95	200	47.5%
樹脂・化成品	655	623	－	－	1,278	2,695	47.4%
機械	141	149	－	－	290	675	42.9%
その他	94	111	－	－	205	390	52.5%
調整額	△ 81	△ 74	－	－	△ 155	△ 350	－%
計	1,219	1,228	－	－	2,447	5,180	47.2%

UBE株式会社

営業利益 四半期業績推移

（単位：億円）

セグメント	2027年3月期					通期予想	進捗率
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累計		
機能品	32	37	－	－	70	160	43.6%
高機能ウレタン	6	△ 2	－	－	4	△ 10	－%
医薬	△ 5	△ 2	－	－	△ 7	△ 30	－%
樹脂・化成品	26	33	－	－	59	130	45.4%
機械	11	10	－	－	21	55	37.7%
その他	5	5	－	－	10	20	51.9%
調整額	△ 20	△ 16	－	－	△ 36	△ 60	－%
計	56	66	－	－	122	265	45.9%

UBE株式会社

売上高 四半期比較

（単位：億円）

セグメント	2027年3月期 第1四半期 （A）	2027年3月期 第2四半期 （B）	差異 （B）-（A）	差異要因
機能品	206	211	5	
高機能ウレタン	157	161	4	
医薬	47	48	1	
樹脂・化成品	655	623	△ 32	パフォーマンスポリマー&ケミカルズ △ 28 エラストマー △ 3
機械	141	149	7	
その他	94	111	17	
調整額	△ 81	△ 74	7	
計	1,219	1,228	9	

UBE株式会社

営業利益 四半期比較

（単位：億円）

セグメント	2027年3月期 第1四半期 （A）	2027年3月期 第2四半期 （B）	差異 （B）-（A）	差異要因
機能品	32	37	5	
高機能ウレタン	6	△ 2	△ 8	
医薬	△ 5	△ 2	3	
樹脂・化成品	26	33	6	パフォーマンスポリマー&ケミカルズ △ 12 エラストマー 18
機械	11	10	△ 1	
その他	5	5	0	
調整額	△ 20	△ 16	5	
計	56	66	11	

UBE株式会社

ポートフォリオ別 売上高/営業利益

（単位：億円）

	ポートフォリオ	2026年3月期 中間期 （A）	2027年3月期 中間期 （B）	差異 （B）-（A）
売上高	スペシャリティ事業	867	1,202	335
	構造改革事業	885	874	△ 12
	機械事業	298	290	△ 8
	その他（調整額を含む）	77	82	5
	計	2,127	2,447	320
営業利益	スペシャリティ事業	91	126	36
	構造改革事業	△ 11	2	13
	機械事業	19	21	2
	その他（調整額を含む）	△ 14	△ 27	△ 13
	計	84	122	37

（注）2027年3月期よりUBE America Inc.を「樹脂・化成品」から「機能品」へセグメント変更しました。
2026年3月期中間期についても比較のため同様に組み替えています。

UBE株式会社

UBE三菱セメント

■UBE三菱セメント㈱ 連結損益計算書　（単位：億円）

項　目		2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期
売上高	国内事業	1,796	1,893
	海外事業	880	917
計		2,676	2,810
営業利益	国内事業	91	100
	海外事業	165	117
計		255	217
経常利益		271	220
親会社株主に帰属する中間（当期）純利益		131	120

■UBE㈱ 持分法投資損益

持分法による投資利益	68	64

■UBE三菱セメント㈱ 定量情報

項　目		2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期
セメント（国内）総需要	（万t）	1,535	1,450
セメント（国内）販売数量	（万t）	375	348
セメント（米国）販売数量	（万st）	81	69
生コン（米国）販売数量	（万cy）	313	284
一般炭価格（参考指標）*	（$/t）	105	135
ドル為替レート	（円/ドル）	146	159

＊上記一般炭価格は参考指標であり、実際の調達価格とは異なる。

（参考）2027年3月期 中間期　連結貸借対照表

総資産	8,212	有利子負債	2,314	自己資本	3,153
自己資本比率	38.4%	D/Eレシオ	0.73倍		

2027年3月期　中間期実績

- 国内事業：国内セメント事業は、建設現場の人手不足、工期の長期化や天候不順等により国内需要が減少した影響を受け、セメントの販売数量は前年同期を下回ったものの、前年度に実施した値上げの浸透により販売価格は上昇した。環境エネルギー事業においては、前年度に実施した発電設備の定期修理及び設備トラブルが今年度は無いことより、販売数量が増加し、またコストが減少した。国内事業全体では、中東情勢を背景とした原燃料価格高騰の影響を受けたものの、前年同期比で増収増益となった。
- 海外事業：米国の金利高止まりを背景とした民間需要の低迷継続等により販売数量は減少したものの、円安の影響により前年同期比で増収となった。営業利益は、中東情勢の影響による燃料費上昇等もあり、前年同期比で減益となった。

UBE株式会社

連結主要指標

（単位：億円）

項目	2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期	2027年3月期 ＜予想＞	2026年3月期
設備投資	212	325	850	690
減価償却費	123	138	310	257
研究開発費	58	70	130	124
事業利益 *	168	222	430	354
有利子負債残高	3,218	3,543	4,150	3,582
自己資本	4,068	4,432	4,500	4,372
総資産	8,707	9,500	10,200	9,463
D/Eレシオ（倍）	0.79	0.80	0.92	0.82
自己資本比率（%）	46.7	46.7	44.1	46.2
売上高営業利益率（%）	4.0	5.0	5.1	4.1
総資産事業利益率（%）	–	–	4.4	3.9
自己資本当期純利益率（%）	–	–	5.7	5.7
投下資本利益率（%）	–	–	4.1	3.8

＊ 事業利益：営業利益＋受取利息・受取配当金＋持分法による投資損益

（注）2026年3月期において、2026年3月期において、マテリアルリサイクル樹脂製造会社及びウレタンシステムズ事業会社の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行いました。
2026年3月期中間期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

UBE株式会社

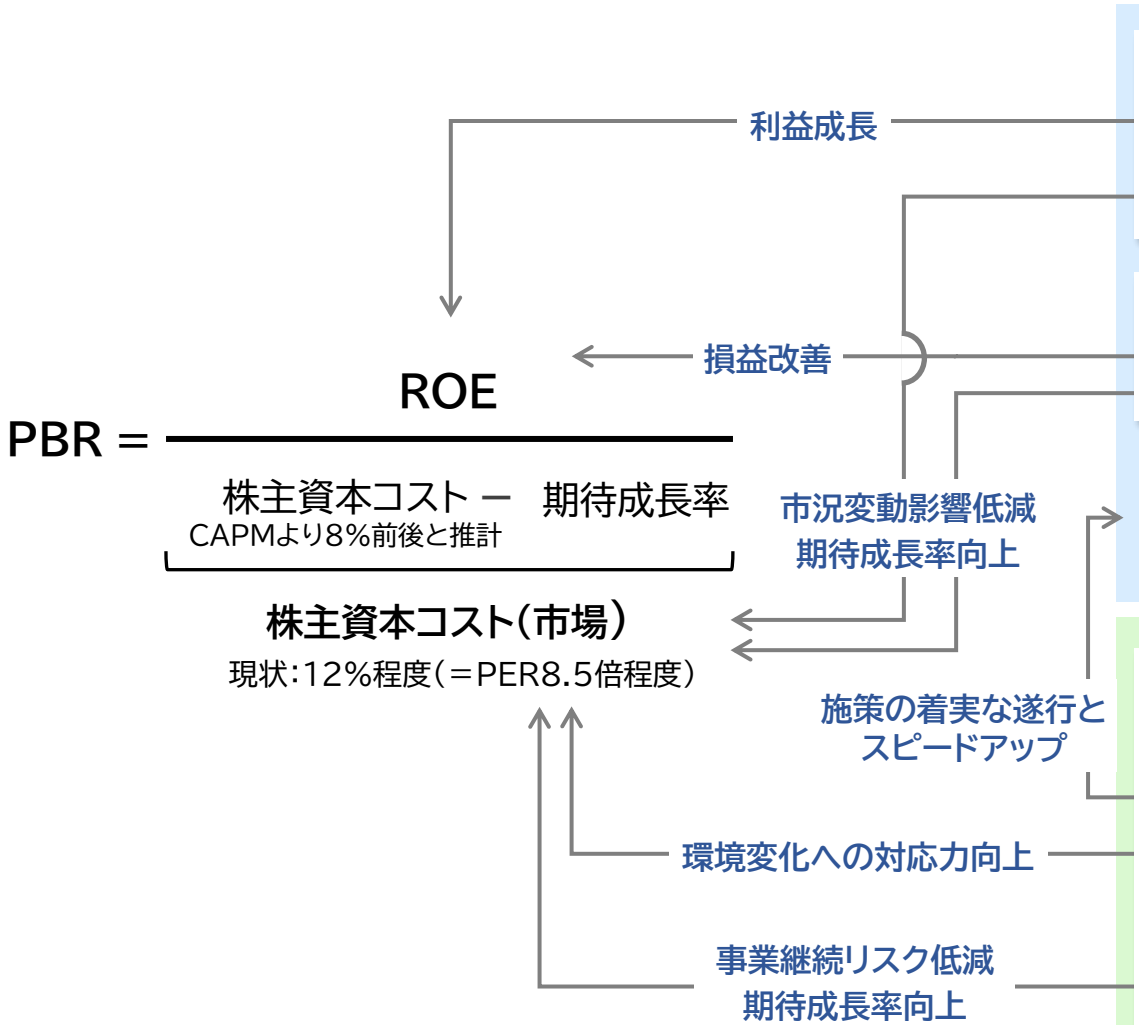
主要連結子会社

（単位：億円）

会 社 名	事 業 内 容	売上高 2027年3月期 中間期	営業利益*2 対2026年3月期 中間期
UBE POLYMERS & CHEMICALS EUROPE S.L.U. *1	コンポジット、ナイロンポリマー、カプロラクタム、硫安、高機能コーティング等の製造・販売	334	↓
UBE Chemicals (Asia) Public Company Limited	コンポジット、ナイロンポリマーの製造・販売	97	↑
THAI SYNTHETIC RUBBERS COMPANY LIMITED	ポリブタジエン（合成ゴム）の製造・販売	169	↑
宇部フィルム株式会社	プラスチックフィルム製品の製造・販売	60	→
宇部エクシモ株式会社	電子・情報通信関連製品等の製造・販売	63	→
UBEマシナリー株式会社	成形機、産業機械、橋梁等の製造・販売 成形機、産業機械のアフターサービス	201	↑

＊1 2026年度第2四半期より、UBE CORPORATION EUROPE S.A.U.の事業運営機能をUBE POLYMERS & CHEMICALS EUROPE S.L.U. へ移管
＊2 ↑↓は1億円以上の増減を示す

（参考）「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」について



スペシャリティ事業の拡大

- 市場成長に合わせた能力拡大とともに、周辺領域におけるM&A等も活用し、着実な利益成長を推進。
- 注力ドメインにおける新規事業創出に向けた活動を強化。

事業構造改革

- アンモニア、カプロラクタム、ナイロンポリマーの構造改革を着実に実施。

✓ 収益性の改善を図りROE（ROIC）を向上。
✓ 市況変動に左右され難く、GHG排出量の少ない事業ポートフォリオに転換することで株主資本コストを低減。

サステナビリティ経営の推進

- 女性の活躍推進及び専門性の高いキャリア採用の拡大等により多様性を高め、「イノベーティブな風土」を醸成。
- スペシャリティ事業の成長を牽引する人財を計画的に育成。
- DXの推進による業務の効率化・高度化。

- 2030年のGHG排出量削減目標50%（2013年度比）（達成見込み）。
- 環境貢献型製品・技術の拡大。

✓ 経営基盤を強化し、中長期にわたる持続的な成長を実現。

（参考）「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」について

UBE株式会社

利益成長

損益改善

$$PBR = \frac{ROE}{\text{株主資本コスト} - \text{期待成長率}}$$

CAPMより8%前後と推計

市況変動影響低減
期待成長率向上

株主資本コスト（市場）

現状：12%程度（＝PER8.5倍程度）

スペシャリティ事業の拡大

- 市場成長に合わせた能力拡大とともに、周辺領域におけるM&A等も活用し、着実な利益成長を推進。
- 注力ドメインにおける新規事業創出に向けた活動を強化。

設備投資・投融資		能力	状況
✓ ポリイミド	フィルム製造設備	20%増	2026年4月営業運転開始済み
✓ 分離膜	中空糸、モジュール製造設備	80%増	2025年11月営業運転開始済み
✓ セラミックス	セラミックス製造設備	50%増	2026年11～12月営業運転開始予定
✓ セパレータ	セパレータ製造設備	30%増	顧客認証手続き中 （2027年1月営業運転開始予定）
	セパレータ製造設備	25%増	プラント建設中
✓ C1ケミカル	米国DMC・EMC工場建設	10万トン/4万トン	プラント建設中
✓ ウレタンシステムズ	事業取得	－	2025年4月1日取得

事業構造改革

- アンモニア、カプロラクタム、ナイロンポリマーの構造改革を着実に実施。

施策		決定状況
✓ タイ	カプロラクタム	2026年3月に生産停止（完了）
	ナイロンポリマー	2026年3月に生産縮小（完了）*
✓ 日本	カプロラクタム	2027年3月に生産停止
	ナイロンポリマー	2027年3月に生産停止
	アンモニア	2028年3月に生産停止

*現状の2系列を1系列に縮小

✓ 収益性の改善を図りROE（ROIC）を向上。
✓ 市況変動に左右され難く、GHG排出量の少ない事業ポートフォリオに転換することで株主資本コストを低減。

（参考）「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」について

UBE株式会社

$$PBR = \frac{ROE}{\text{株主資本コスト} - \text{期待成長率}}$$

株主資本コスト：CAPMより8%前後と推計

株主資本コスト（市場）

現状：12%程度（＝PER8.5倍程度）

環境変化への対応力向上

事業継続リスク低減
期待成長率向上

サステナビリティ経営の推進

- 女性の活躍推進及び専門性の高いキャリア採用の拡大等により多様性を高め、「イノベーティブな風土」を醸成。
- スペシャリティ事業の成長を牽引する人財を計画的に育成。
- DXの推進による業務の効率化・高度化。

KPI	2025年度実績	2030年度目標
✓ 女性社員比率（国内連結）	17.3%	25.0%
✓ 女性管理職比率（国内連結）	5.5%	10.0%
✓ 一人当たりの人財投資額（単独）	21.6万円	30万円

- 2030年のGHG排出量削減目標50%（2013年度比）（達成見込み）。
- 環境貢献型製品・技術の拡大。

KPI	2025年度実績	2030年度目標	2035年度目標
✓ GHG排出量50%削減（2013年度比）	32%減（320万トン/年）	50%減*（237万トン/年）	70%減（142万トン/年）
✓ 環境貢献型製品・技術の売上高比率	48%	60%	－%

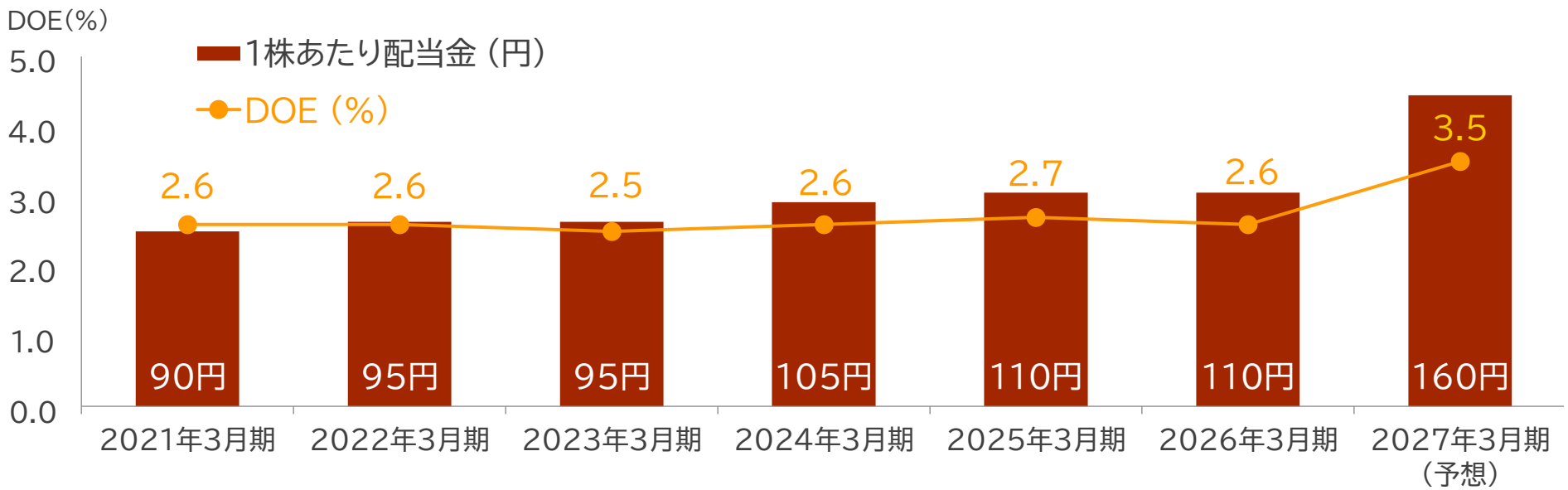
＊アンモニア・カプロラクタム・ナイロンポリマーの生産停止・縮小により**2028年度65%減（166万トン/年）**を見込む

✓ 経営基盤を強化し、中長期にわたる持続的な成長を実現。

（参考）株主還元

- 安定配当を基本方針とし、2026年度以降の株主資本配当率（DOE）を3.5%以上に引き上げる。中期経営計画の進捗を踏まえ、4.0%への引き上げを目指す。
- 機械事業、セメント関連事業のIPO資金の一部による自己株式取得を検討。

中期経営計画当初設定	2026年度以降
株主資本配当率 2.5%以上 （累進配当を目指す）	・株主資本配当率 3.5%以上 （累進配当を目指す） ・早期に4.0%への引き上げを目指す



UBE株式会社

定常的な損益変動要因

時期	セグメント	要因
第1四半期	樹脂・化成品	アンモニア工場（宇部地区）で隔年（偶数年）に定期修理を実施。 樹脂・化成品セグメントの営業利益にマイナス影響。
	全社	自家発電設備（宇部地区）で隔年（偶数年）に定期修理を実施。 全社の営業利益にマイナス影響。
第2四半期後半 ～第3四半期	樹脂・化成品	ナイロン原料カプロラクタムの販売数量が衣料品の秋・冬物需要の影響を受け増加。 カプロラクタム事業の営業利益にプラス影響。
第4四半期	樹脂・化成品	合成ゴム工場（千葉地区）で毎年定期修理を実施。 エラストマー事業の営業利益にマイナス影響。
	機械	売上、利益の計上が集中。 成形機事業、産機事業の営業利益にプラス影響。

UBE株式会社

- UBE株式会社
  - 2027年3月期 第3四半期 決算発表
    - 2027年2月4日　15:30
  - 2027年3月期 第3四半期 決算説明会
    - 2027年2月4日　18:00　～　18:45

なお、この予定は都合により予告なく変更となる可能性があります。

UBE Transform Tomorrow Today

本資料における将来の見通しに関する記載は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因の変化によって見通しと大きく異なる場合もありえますことをご承知願います。そのような要因としては、主要市場の経済状況、製品の需給、原燃料価格、金利、為替相場等があります。但し、業績に影響を及ぼす要因はこれらに限定されるものではありません。

本資料の著作権は当社に帰属します。本資料のいかなる部分も書面による当社の事前の承諾なく、複製又は転用等を行うことはできません。